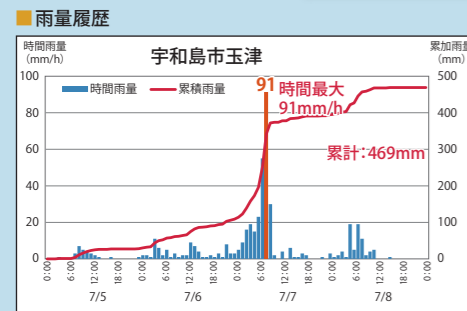


主な被災箇所と応急対応

国道56号 [宇和島市]

宇和島市の国道56号では降雨により、法面崩壊などが多発

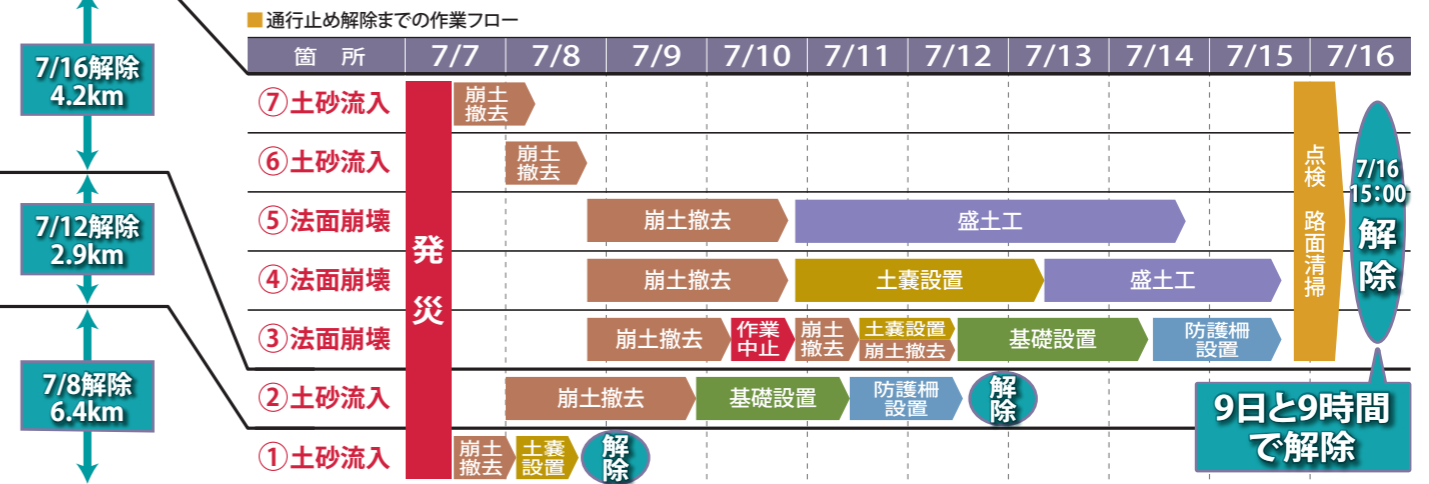
●宇和島市吉田町の国道56号では、降雨により土砂流入や法面崩壊が発生し、7月7日から16日まで全面通行止めとなりました。



※平成24年3月に西予宇和IC-宇和島北IC間開通

国道56号は、被災から9日と9時間で解除を実現

●愛媛県南予地域は、南北を結ぶ主要交通であるE56松山自動車道・国道56号・JR予讃線がともに被災しました。
●複数の箇所での通行止めとなっていた国道56号は被災から9日と9時間で解除を実現しました。



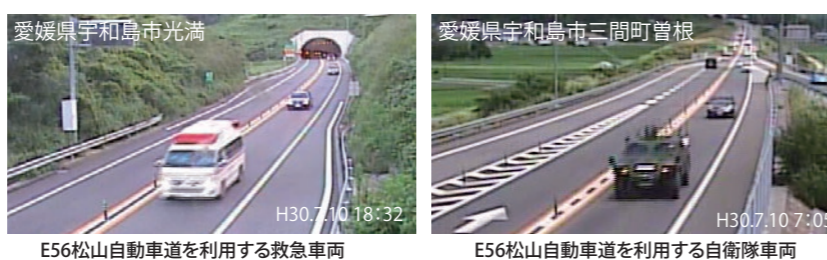
被災:復旧経緯

被災状況	7月 7日(土) 早朝	土砂流入や法面崩壊発生
復旧状況	7月 8日(日) 18:00	箇所①規制解除(片側交互通行)⇒7月10日(火) 14:00 片側交互通行解除
	7月12日(木) 22:00	箇所②規制解除(片側交互通行)
	7月16日(月) 15:00	箇所③~⑦規制解除(片側交互通行)

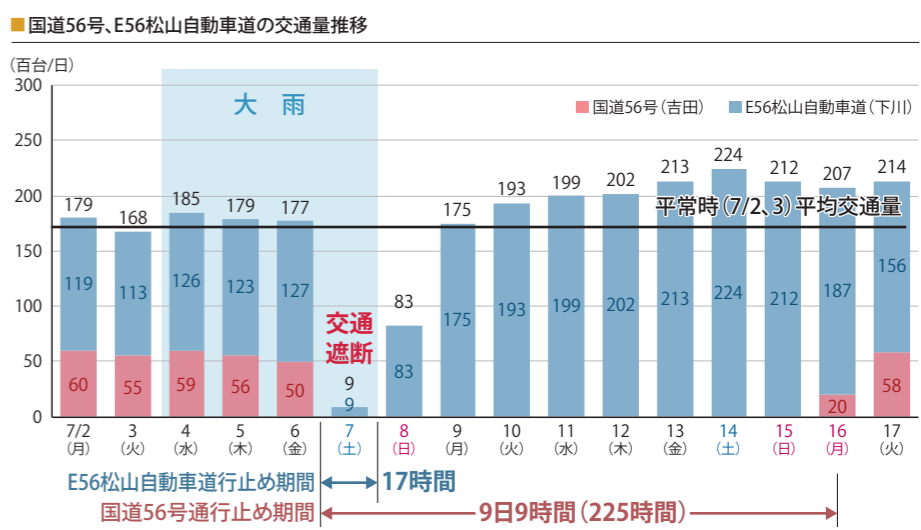
ダブルネットワークで、命の道を確認

●E56松山自動車道は小規模土砂流入を早期に除去して17時間で通行止めを解除し、地域への影響を抑えました。
●E56松山自動車道と国道56号のダブルネットワークは、復旧や救急など地域間の移動を可能とし、命の道を確認しました。

E56松山自動車道と国道56号のダブルネットワークにより地域間の移動を確認



国道56号が被災により通行止めとなった期間、E56松山自動車道を利用し、交通を確認



被災沿線地域の 方々の声

宇和島市長

●H30.7豪雨災害では、国道56号や国道378号が通行止めとなったが、松山自動車道がすぐに通行可能となったことから、自衛隊などの緊急車両の通行が可能となり、まさに命の道であった。
●今後想定される南海トラフ地震時にも、松山自動車道のような信頼性の高い道路が必要であると痛切に感じている。